

タイトル	現代日本社会におけるジェンダー差		
所属	中京大学現代社会学部 岡部ゼミ	氏名	久良木 万穂

## 1. 背景

注目される **ジェンダー・ギャップ指数!**

ジェンダー差をわかりやすく数値化したもの

総合的にジェンダー・ギャップ指数が低いと言われる日本  
そんな中・・・

現代社会の人びとは、日常生活のどのような場面でジェンダー差を感じているのだろうか



## 2. 調査方法

### ①聞き取り調査

調査対象：身の回りの男女21人



今まで生きてきてジェンダー差を感じたことがありますか？

### ②文献調査

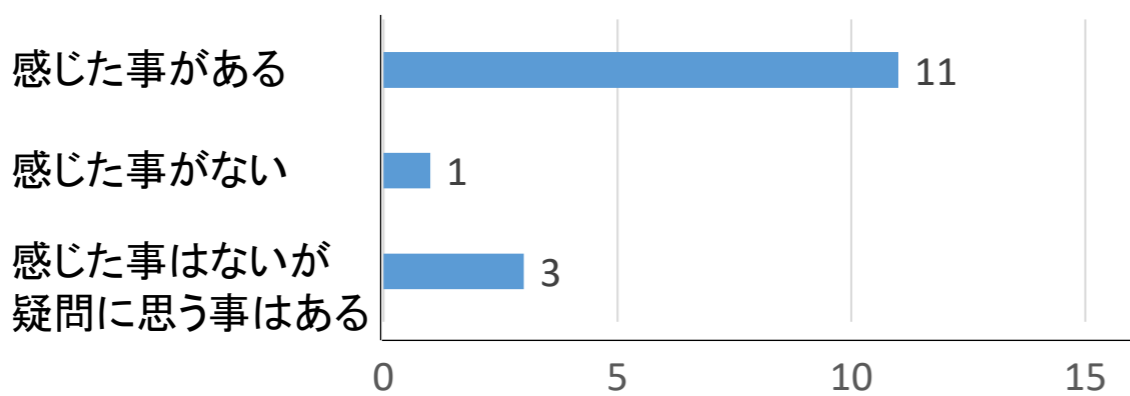
『アナーキスト人類学のための断章』、  
デヴィッド・グレーバー著

## 3. 調査結果

### ①聞き取り調査

- 日常生活において、女性だけに限らず **男性もジェンダー差を感じている**
- ジェンダー差を感じるかどうかは、調査対象者の **過ごしてきた環境によって異なる**
- ジェンダー差を感じていなくても、男女間での扱いの差に疑問を抱く人もいる**

<女性へのジェンダー差についての調査>



### ②文献調査

革命を物事としてみなすことをやめ、  
革命的な行動を起こすことが重要

革命的な行動を積み重ねることで、  
ほとんどすべてを変革させることができる



※革命的な行動

→必ずしも政府を転覆することを目指す必要はなく、  
権力の目前において自律的共同体を創造する試み

『アナーキスト人類学のための断章』より

## 4. 考察

ジェンダー差が注目されつつある現代日本社会においても、  
**未だ「女性は子育て・家事、男性は仕事」というような考え方が存在する**

問い：現代日本社会の人びとはどのような場面でジェンダー差を感じるのか？

答え：「女性は子育て・家事、男性は仕事」という考え方を突き付けられる場面

問い：どのようにしてジェンダー差を解消していけるのか？

答え：日々の小さな行動を積み重ねていくことで、  
少しずつジェンダー差を解消していけるのではないかと

大切なのは、小さな行動の積み重ね！



## 5. 参考文献

『アナーキスト人類学のための断章』、デヴィッド・グレーバー著・高祖岩三郎訳、2006、以文社